
「新約のきよめ」

第17章 聖霊による喜び

クリスチャンが以前の生活を慕うことから守るもの

クリスチャンが以前の生活を慕うことから守るには、神にある喜びが、すべての肉の快樂よりも、まさるものになること。

喜びは、神の民に対する約束であり、さらには命令でもある。

神はクリスチャンが熱心で快活で喜んでいることを願っておられる。

初代クリスチャンの成功ある生涯の主要な秘訣の一つは、彼らが喜びに満たされていたこと。

人々は雄弁や議論などの人間的な能力よりも、輝いた顔やあふれる心に惹きつけられる。

喜びのないクリスチャンは、世にはつまずきの石、兄弟たちと神には憂慮となる。

主を喜ぶことは、クリスチャンの力。

満ち溢れる喜びは聖霊に満たされることで与えられる

喜びがあふれていないのは、聖霊に満たされていないから。

聖霊が心に満ちてくださるとき、心の中に喜びの泉が開かれる。

泉なので、涸れてしまうことがない。

その喜びは、卑しい喜びを求める欲求をまったく追放するほどの豊かで永続する喜び。

聖霊による喜びは、祝福の泉である聖霊ご自身を持つこと。

ある面、酒に酔うような気分の快活さと高まりがある。

それは聖霊がもたらしてくれるもの。

表面的で過ぎ去るほかの喜びとはちがう。

外部の環境に依存しない、影響されない、内側から生じるもの。

それは落ち着いた心の静けさでありたましいの安静

間断なく浮かれるようなものではない。

それはむしろ、落ち着いた心の静けさであり、
神のみこころとの調和によって平衡を保つたましいの安静。

それはキリストがなされたように、父なる神のみこころを行うときに見出すもの。

この喜びは、キリストが地上におられたときに持っておられたものであり、
私たちは聖霊に満たされ、自分の意志が神の意志と一つになるとき、
キリストとともにこの喜びをわかち合うことができる。